

鳳仙寺フエスタで 常磐殿の落慶法要

「桐生山鳳仙寺フエスタ」が29日、桐生市梅田町一丁目の同寺（坪井良廣住職）で開かれ、檀家



鳳仙寺の常磐殿落慶式

2721.4.30

（だんか）など約500人が講演や法要で有意義な時間をすごした。

今回の目玉行事である常磐殿（開山堂・位牌堂・秋葉堂・薬師堂）の落慶式で位牌（いはい）開眼式と落慶法要が営まれたあと、檀信徒施食会（せじきえ）法要が行われた。

また、これに先立って講演があり、仏像ガール

こと廣瀬郁実さんが「仏像の見方」を解説。天徳寺（新潟県）の中野尚之住職が「あおぞら説法」を行った。このほか、屋台村で軽食や喫茶を楽しんだり、特別公開の仏像などを見学した。